

上巻の巻頭には、 スタートブック



- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえたスタートカリキュラムです。
- ・幼児教育の専門家や指導者が編集委員として執筆や監修をしています。
- ・子どもたちの「安心感」を大切に、**学びに向かう力**を育てます。

幼児教育の成果を生かす スタートカリキュラム

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえて、一人一人の子どもが自信をもって自己を発揮し、安心して学校生活を始められるように、スタートカリキュラムへの手がかりを丁寧に示しました。



ポイント1 幼児期の写真からはじまる「すたあとぶつく」

子どもにとっては**安心感**につながり、教師にとっては**幼児教育の成果を生かす指導**の参考になります。



たくさんのともだちが
あつまってきたね。



ポイント2

学びに向かう力を育む



ポイント3

教師の支援がわかる

幼児期の学びや育ちを大切に、学びに向かう力を育てるための教師の姿勢が紙面を通して分かるように編集しています。



小寸 p.9

ポイント4

ICTの活用

お手持ちのタブレットPCやスマートフォンでQRコードを読み取ると、幼児期に親しんだ歌や手遊びの動画が閲覧できます。



ポイント5

スタートカリキュラム指導書

スタートカリキュラムに特化した別冊の指導書を作成しました。基礎～実践事例まで、先生方の指導をサポートします。



ポイント6

保護者も安心

単元冒頭の保護者へのメッセージでは、スタートカリキュラムの意義や期待する子どもの姿を示しています。

保護者の皆様へ

期待に胸を膨らませている子ども、少し緊張した子ども、不安で今にも泣き出しそうな子ども、さまざまな1年生がいます。全ての子どもたちが楽しく安心して小学校生活を始められるように、入学当初には、「スタートカリキュラム」という取組が実施されています。スタートカリキュラムでは、入学までの生活経験や学びを生かしながら、歌や遊びを取り入れた活動を行ったり、生活科を中心に国語や算数などのいくつかの教科をあわせた合科的・関連的な指導を行ったりします。

本書は、このスタートカリキュラムを丁寧に扱い、子どもたちが「明日も学校に来たい！」という意欲を高められるよう、巻頭部分を工夫しています。